

新宮山彦ぐるーぶ第1873回

## 持経宿・平治宿連休後の点検巡回

◇実施日；平成28年5月14日(土) 晴  
◇参加者；沖崎吉信。

1名。

5月15日は、新宮市「千穂ヶ峰を歩く会」のお手伝いがあった。児嶋氏さん主のモノレール屋根工事の手伝いが出来ない為、せめてこの日持経宿・平治宿の志納金回収と点検巡回を兼ねてバイクで一人出向いた。

朝8時30分家を出て、10時頃池郷林道へ入る。ゲートから1.7〜1.8km地点で倒木が道を塞いでいてバイク通行可能ないれど、午後入宿する梶野君の車はとも通行出来ない。

何とか処理せねばの思いで伐採に取りかかるものの、道に寝ている状態でなく5〜6m上から斜めに倒れている為手も届かず、たとえチェーンソーがあっても完全に処理できない。

その上、生木で木にねばり気あって、その上木にトゲまでありなかなか手強い。

途中、鋸の刃が抜けず、とうとう刃を折ってしまった。残った側手許よりの15cm鋸で約1時間悪戦苦闘の末、なんとか通行出来る様にした。

谷川に沿って通行する事となるので要注意である。後日、チェーンソー、梯子持参で処理が必要だ。

持経宿到着後直ぐ平治宿へ向う。休みなしの43分で平治宿着。志納金三五、五〇〇円回収と小屋内の清掃と片付けを済ませ、外に出て小屋右横手を覗くと木が倒れ込んでいる。幹回り40cmのブナの木の枝が落ちた様だ。枝と言っても長さ5〜6m、枝回りは太い所で15cm位ある。もし2〜3m手前だったら小屋を直撃していただろう。この大枝も処理が必要だ。

平治宿の帰路、5組9人に会う。大半が行仙宿泊りとの事であ

った。

この日、持経宿で五五、四〇〇円の志納金を回収(2度目)して、15時頃に下山した。

連休中(4月29日〜5月13日)の回収志納金は、

行仙宿；一八八、〇〇〇円〇

持経宿；一一〇、〇〇〇円

平治宿；三五、五〇〇円

合計；三三三、五〇〇円となった。

宿泊単価2,000円で割ると166人が利用した事となる。尚、昨年は、この時期28万円であったことから、昨年比約20%増加している。

今回の山行では、

一、持経宿〜平治宿間は、新芽と白やしお(五葉つつじ)で至福の時を過ごした。

一、倒木2本も在って、まめな巡回の必要性を感じた。



池郷林道を塞ぐ倒木



平治宿裏にブナ大枝落木

(記 沖崎)